

2 排水基準

基準⑦

ア 一日の平均排水量が 50 m³ 以上の指定工場の排水基準

項 目	許 容 限 度
水素イオン濃度 (水素指数)	海域以外の公共用水域に排出されるもの 5.8 以上 8.6 以下 海域に排出されるもの 5.0 以上 9.0 以下
生物化学的酸素要求量 (単位 1 リットルにつきミリグラム)	160 (日間平均 120)
化学的酸素要求量 (単位 1 リットルにつきミリグラム)	160 (日間平均 120)
浮遊物質 (単位 1 リットルにつきミリグラム)	200 (日間平均 150)
ノルマルヘキサン抽出物質含有量 (鉱油類含有量) (単位 1 リットルにつきミリグラム)	5
ノルマルヘキサン抽出物質含有量 (動植物油脂類含有量) (単位 1 リットルにつきミリグラム)	30
フェノール類含有量 (単位 1 リットルにつきミリグラム)	5
銅含有量 (単位 1 リットルにつきミリグラム)	3
亜鉛含有量 (単位 1 リットルにつきミリグラム)	2
溶解性鉄含有量 (単位 1 リットルにつきミリグラム)	10
溶解性マンガン含有量 (単位 1 リットルにつきミリグラム)	10
クロム含有量 (単位 1 リットルにつきミリグラム)	2
弗素含有量 (単位 1 リットルにつきミリグラム)	15
大腸菌群数 (単位 1 立方センチメートルにつき個)	日間平均 3,000
窒素含有量 (単位 1 リットルにつきミリグラム)	120 (日間平均 60)
りん 磷含有量 (単位 1 リットルにつきミリグラム)	16 (日間平均 8)

備考 1 「日間平均」による許容限度は、1 日の排出水の平均的な汚染状態について定めたものである。

2 小規模し尿処理施設は平成 20 年 4 月 1 日から適用。

3 小規模し尿処理施設に係る生物化学的酸素要求量及び化学的酸素要求量についての排水基準値は別表ウのとおり。

なお、小規模し尿処理施設に係るその他の項目についての基準値は本表アのとおり。

4 小規模し尿処理施設に係る排水基準の適用区域は有明海及び八代海に流入する公共用水域（熊本県内に限る）とする。

なお、その他の排水施設についての適用区域は熊本県内全域とする。

5 生物化学的酸素要求量についての排水基準は、海域及び湖沼以外の公共用水域に排出される排出水に限って適用し、化学的酸素要求量についての排水基準は、海域及び湖沼に排出される排出水に限って適用する。

6 検定方法は、排水基準を定める総理府令（昭和 46 年総理府令第 35 号）第 2 条の規定に基づき、環境大臣が定める方法による。

7 窒素及びりん
磷含有量についての排水基準は有明海、八代海、羊角湾及び瀬戸内海に流入する公共用水域に適用する（平成 20 年 4 月 1 日から施行）。